

contents

刊行にあたって ————— 3

はじめに

- インプラントは天然歯のためにある手段 ————— 6
- なるほどインプラント学 ————— 12
 - ・ これを知らずしてインプラントに手を出すべからず
 - ・ cinema version “インプラントの用心棒”

11 presentations

- ① 当たり前だが、まずは口腔機能の改善から始まった ————— 22
 - ★ 誰もが知っている感じ The Orthodox
- ② 骨幅さえ確保できれば、なんでもできそうな気になる？ ————— 26
 - ★★★ いけいけの感じ やっちゃえ？ みたいな
- ③ 臨床において「慎重すぎる」はない。とくにインプラント治療では ————— 36
 - ★ 地震はリカバリーできるが……動揺を感じたとき
- ④ 歯科医師の技術と良識はシステムと同じく進化しているだろうか？ ————— 40
 - ★ 「長期にわたり天然歯を残す」30年前からの変わらぬ思い
 - ★★★ 金権？ のにおい 儲けに走るイメージを拭う
- ⑤ シンプルがいちばんであることに気づく ————— 48
 - ★★ 目指すは simple is best !
 - ★ 何も足さないケースでも長期的な安定が得られた！
- ⑥ 最終的な術後のイメージを予想できるか？ ————— 62
 - ★★ だめなら病院に送る？ 責任をもってやり遂げる覚悟が……
- ⑦ 困難なケースはどうする？ ————— 66
 - ★★ 寒い感じ 紹介しちゃえ、みたいな？
- ⑧ ペリインプランタイトィス発症は防げないものか？ ————— 72
 - ★ すたれていくのでは…？ ちょっと苦しい感じ
- ⑨ これからインプラントはどう展開していくのだろう ————— 82
 - ★ まだ珍しい感じ チャレンジは大切だけど……
- ⑩ 失敗例の経験から学んだこと ————— 86
 - ★★★ 先達に学び慎重に進めていく
- ⑪ サイナスリフトを確実にを行う手法があれば…… ————— 92
 - ★★ 珍しい感じ 「やってみたい！」

★の数は症例の難易度を示し、1～3まで数が多いほど難度が高くなります。

おわりに

- オッセオインテグレーション …………… 108
- 歯科のこれから …………… 120

臨床のお役立ちテクニック

- ブロック骨採取法 …………… 126
- G.T法（ガムトリミング法） …………… 134
- G.T法 トリミングの目安 …………… 136

あとがき

- letter from prof. Isaksson …………… 140
- プレの無い学問 …………… 142
- 超一流の方々に学び、ともに歩む喜び …………… 143

column

thinking time

- DMFとDFBからPEMへ、そして歯学から医学へ ……20
- 3種の骨はどうなったか？ ……30
- 歯科医師としての自身のレベルを問うてみよう ……43
- Bio-Oss® って本当に大丈夫？ ……58
- ペリインプランタイトィス発症?! インプラント治療の結果に差が出るのはなぜだろうか？ ……81
- サイナスリフトの本来の目的 ……97
- 「チタンメッシュ」「ソケットプリザベーション」「人工骨」のその後 ……104

QA

- 増生と造成の違い ……25
- 骨造成は、手技により結果に差が出るのでしょうか？ ……32
- 放射線治療を行った患者へのインプラント治療は禁忌？ ……39
- チタンメッシュ下の骨様組織の成熟について ……57

REPORT

- 骨補填材も異物 ……35

warning

- インプラントありきの治療は口腔内を破壊する ……47

Caution!

- ビスフォスフォネート系の薬剤を使用している患者に対するインプラント治療 ……66

* 参考資料 ……137